

協働

森林里山活動団体との交流

日時：平成21年10月24日（土） 10:00～15:00

講師：森林里山活動団体（人と自然の共生国際フォーラム参加）

概況



第3回人と自然の共生国際フォーラム

第3回目となる今回のフォーラムは、2010年に愛知・名古屋で開催される「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」の1年前記念行事と位置づけ、「生物多様性から人と自然の共生を考える～森林・里山にみるいのちのつながり」をテーマに、「生物多様性」という観点から、森林・里山の本当の価値を見直すとともに、私たちの暮らしとのつながりや、2010年のCOP10にどう関わるべきかについて参加者と一緒に考えることをねらいとし、開催されました。

●開会式

主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介

●基調講演「生物多様性とあいち・なごやで開催されるCOP10の重要性」

講師：クリスティーヌ・フォン・ヴァイツゼッカー氏

「生物多様性とは、変わり行く世界の中での我々の未来への生命保険である」という言葉を紹介された上で、生態系や多様性がいかに重要であるか、また多様性が失われつつある現状についての話がありました。そして、市民、政府、企業がそれぞれにできることを提案されました。

●ポスターセッション

県内外の自然環境に関する活動に取り組む37の活動団体・施設が参加し、各ブースで各団体・施設が普段行っている活動の紹介の他、参加者とともに「生物多様性」等についての熱心な意見交換が行われました。

●パネルディスカッション

コーディネーター：川井秀一氏

パネリスト: 香坂玲氏、速水亨氏、今村薫氏

コメンテーター: マリ クリスティーヌ氏

森林・里山をキーワードに、生物多様性とのかかわりについて、各パネリスト及びコメンテーターの経験やグローバルな視点に基づいた意見が出され、来年度のCOP10に向け建設的な議論が交わされました。

●COP10 応援曲披露

愛・地球博を応援するために誕生した市民参加の合唱団である「愛・地球博記念市民合唱団」とソプラノ歌手の小沢祐美子氏により、COP10 応援曲「KYOSEI～Live together on the earth～」などが披露されました。

●フォーラム宣言・閉会式

基調講演、パネルディスカッションでの議論、ポスターセッションでの参加者との意見交換などの結果を受け、「フォーラム宣言(案)」のとりまとめが行われ、コーディネーターの川井氏から参加者に提案されました。この宣言は、会場の参加者の温かい拍手を持って採択され、今後 COP10 に向け、参加者自らも具体的な行動を起こしていくことが約束されました。